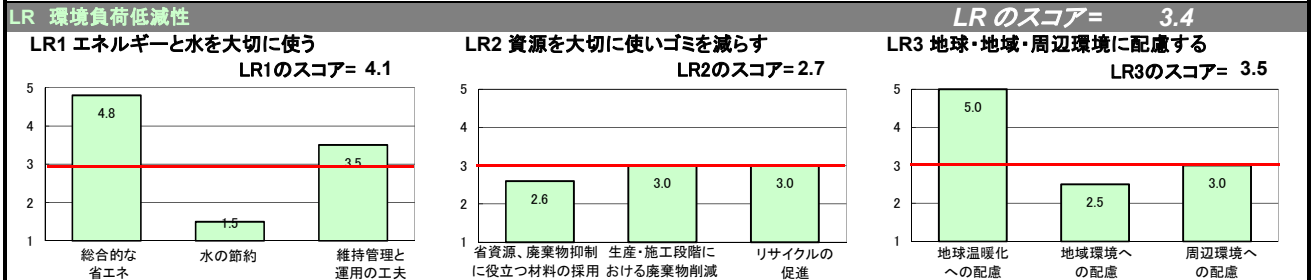
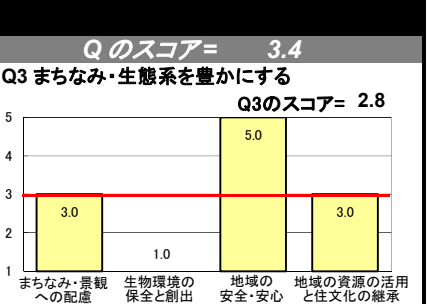
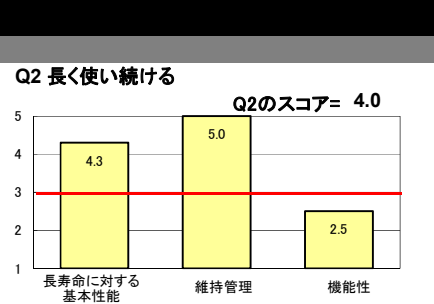
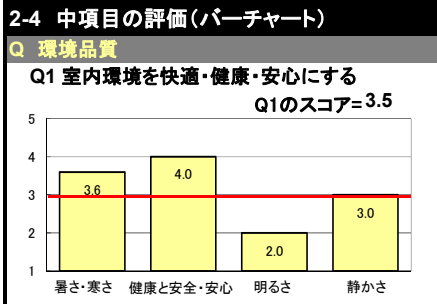
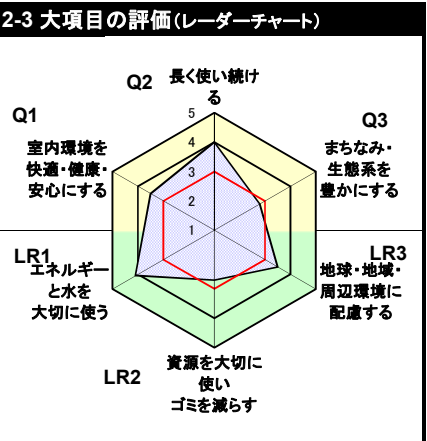
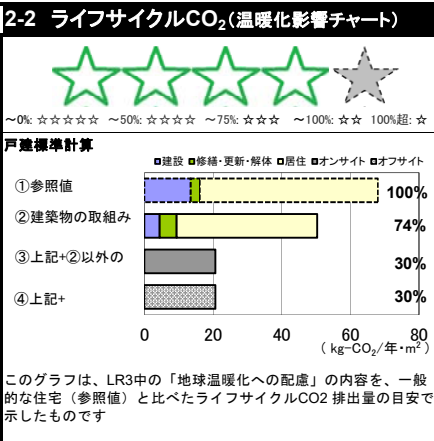
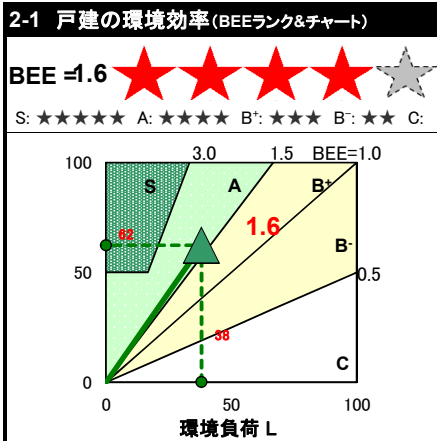




1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2020年9月	竣工		持ち込み家電等	仮
建設地	横浜市戸塚区原宿五丁目			外構の仕様	確定
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定	〈備考〉		
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	鉄骨造	確定	評価の実施日	2020年8月6日	
階数	2		作成者	小幡 勤	
敷地面積	165 m ²	確定	確認日	2020年8月6日	
建築面積	48 m ²	確定	確認者	長沼 豊	
延床面積	91 m ²				
世帯人数	3	確定			



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> ○長くお住まい頂くための性能を持たせ、さらに維持管理を行う環境を整えた ○周囲の建物に調和する外観とした ○UA値の向上の為、窓性能を向上させ、効率的なエネルギー運用を行える様、太陽光発電と併せて蓄電池を導入、CO₂ヒートポンプ式給湯器を採用し併せて、エネルギー消費量を抑える設計として温暖化への配慮を行った 		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする <ul style="list-style-type: none"> ○強化外皮採用 ○通風を考慮 ○特定建材は全てF☆☆☆☆ 	Q2 長く使い続ける <ul style="list-style-type: none"> ○構造耐力上主要な部分に用いる鋼材の防錆仕様は溶融亜鉛メッキを採用 ○屋根材はSUS製を採用 	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする <ul style="list-style-type: none"> ○閑静な新しい住宅地で周囲は新しく明るい色の専用住宅が多く、周囲との調和を考慮した明るい色の外壁を選択、北側の道路が高く敷地内を見渡せる特性を生かしオープンな外構として防犯性を持たせ、また南側道路からのアプローチは過度な演出を控え地域特性を考慮した
LR1 エネルギーと水を大切に使う <ul style="list-style-type: none"> ○太陽光発電5.04KW+蓄電システムを導入 ○CO₂ヒートポンプを採用 	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす <ul style="list-style-type: none"> 特に無し 	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する <ul style="list-style-type: none"> 特に無し



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

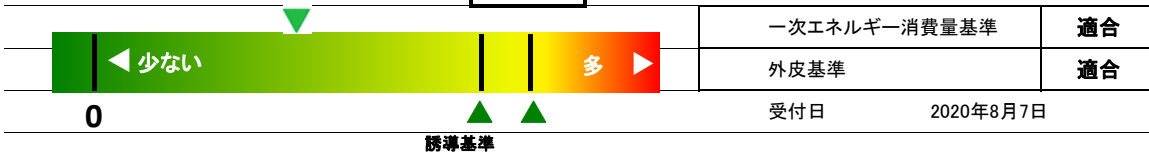
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **54** %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①BEI:0.46

③電力消費量表示機器の設置。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤特定建材はF☆☆☆☆を採用

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **5**

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑦食器棚に耐震ラッチ取付・蓄電池を設置して停電時に使用可能、太陽光発電により蓄電池に充電可能

⑧劣化対策等級3

⑨犯罪防止については道路から見渡せる外構計画

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

蓄電池

CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 2-058



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
QH すまいの環境品質		-	-	3.4
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	3.5
1 暑さ・寒さ		3.6	0.50	3.6
1.1 基本性能		4.2	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心	1.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		3.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		3.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25	-
1 適切な暖房計画		3.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		4.0	0.30	4.0
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	5.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	1.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	5.0	0.25	-
3 明るさ		2.0	0.10	2.0
3.1 屋光の利用		2.0	1.00	-
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
QH2 長く使い続ける		-	0.30	4.0
1 長寿命に対する基本性能		4.3	0.50	4.3
1.1 躯体	防災	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		4.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.3	0.20	-
1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
2 火災の早期感知		4.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		2.5	0.25	2.5
3.1 広さと間取り		3.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
QH3 まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.8
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LRH すまいの環境負荷低減性		-	-	3.4
LRH1 エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.1
1 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	3.0	0.10	-
2 水の節約		1.5	0.15	1.5
2.1 節水型設備		1.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		3.5	0.10	3.5
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	4.0	0.50	-
LRH2 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	2.7
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.6	0.60	2.6
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1 木質系住宅		3.0	-	-
2 鉄骨系住宅		3.0	1.00	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		1.0	0.20	-
1.4 内装材		3.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		3.0	0.30	3.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		3.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		3.0	0.33	-
2.3 施工段階		3.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
LRH3 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.5
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	2.5
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-